地域の話題を
お届けします

しずおか Topics

清流の都・静岡

清流の都・静岡創造推進協議会

【清流便り】清流で育つ「山葵（ワサビ）」は有東木が栽培の発祥地。家康公にも献上され、珍重されました

静岡ライオンズクラブが「献血呼びかけ」「静岡ホームの児童を招いて植樹」などの活動

静岡ライオンズクラブ（会長・狩野吉利さん）は、10月26日（土）、葵区の青葉イベント広場で、献血を呼びかける活動を行いました。

同クラブでは、春と秋の2回献血運動を実施。今回は、減少傾向にある若者の献血をPRするため、ボランティアで参加した常葉大学の学生5人と一緒に献血を呼びかけました。

雨の中、啓発グッズを配った常葉大学の鈴木佐和さんは、「人の命も自分の命も助かるかもしれないので、献血に協力してほしい」と話しました。

11月16日（土）には、児童養護施設「静岡ホーム」の小学生24人と教職員4人を招き「思い出の植樹とバーベキュー大会・竹とんぼ手づくり体験」を実施。子どもたちと楽しい時間を過ごしました。

献血への協力を呼びかける常葉大学の学生

ライオンズクラブ国際協会334-C地区2R4Zが東日本大震災復興支援に寄付

ライオンズクラブ国際協会334-C地区2R4Zに所属する5クラブ（静岡駿府LC・静岡けやきLC・静岡リバティLC・静岡弥生LC・静岡巽LC）は、10月14日に開催したチャリティーゴルフ大会の収益金37万8000円を、東日本大震災復興支援金として、静岡県ボランティア協会に寄付しました。

10月30日（土）に行われた贈呈式には、各クラブの代表が参加。ゾーン・チェアパーソンの芝口健治さんが、同協会理事長の神田均さんに目録を手渡しました。

寄付金は、同協会の岩手県にもうけられた交流拠点「三陸ふじのくに絆ハウス」大槌・釜石復興支援の活動資金に充てられます。

贈呈式の様子

「I Love しずおか協議会」が「しずおか〝おまち〟でウィンターカーニバル2013」の概要を発表

11月20日（水）、静岡市の中心市街地の活性化を目指す「I Love しずおか協議会」は、冬の街のにぎわいを創出する「しずおか〝おまち〟でウィンター・カーニバル2013―2014」の概要を発表しました。

11月22日からは、静岡市と同協議会の共催で、青葉シンボルロードにイルミネーションを点灯。12月14日から、昨年に続き葵スクエアにスケートリンクを設置します。また、インターンシップとして参加している市内の大学生が企画した「サンタパレード」「おまちdeビンゴ」「陽気なサンタのクリスマスライブ」なども開催されます。

協議会会長の森恵一さん（日専連静岡社長）は、「オール静岡で市の元気を育んでいきたい」とあいさつしました。

イベントをPRするインターンシップの大学生たち

携帯サイトで消費生活に関する
情報を掲載しています

静岡市消費生活センター

☎054-221-1056（相談専用）

●専門相談員による相談時間●

月〜金（祝日、年末年始を除く）午前9時〜午後4時

http://shouhi-s.jp/

静岡市消費生活センターイメージキャラクター「かいけつ！ハナミン」

今年も優れた製品がそろった「2013グッドデザインしずおか」大賞は「オトモシッキ 花のオトモ」

「2013グッドデザインしずおか」選定品に選ばれた受賞者と審査員の皆さん

「グッドデザインしずおか」は、県内の中小企業などが開発または生産した製品のうち、企画から流通段階の間に戦略的にデザインを活用した製品を県が選定・顕彰するものです。今年度は記念すべき第20回。

応募は71点あり、県内の伝統や優れた技術など積み重ねてきた価値のあるものに、現代生活の利便性も兼ね備える製品などを選定。大賞（県知事賞）の「オトモシッキ 花のオトモ」（漆器製造販売藤中）ほか、ユニバーサルデザイン賞2、マネジメント賞2、文化賞2、技術賞2、奨励賞3の計12点です。先ごろ県庁で表彰式が行われました。

米久ベンディングが「富士山支援自動販売機」の売り上げを静岡県に寄付

米久ベンディングは、富士山の文化や自然、美しい景観を人類共通の財産として後世に伝えるため、「富士山支援自動販売機」の売り上げの一部（12万7651円）と同社からの10万円の合計22万7651円を、環境保全の支援として静岡県へ寄付しました。

この「富士山支援自動販売機」は、富士山世界文化遺産両県県民会議の活動方針に賛同し、いつまでも富士山を世界遺産として守り続ける取り組みの一環として行っているものです。同自動販売機は、静岡リビング新聞社をはじめ36台が設置されています（今後も増やしていく予定）。

「今の富士山を後世に伝えていくため、価値あるものにするため、保全をしっかりやっていきたいです。そのために、自動販売機の設置を増やし寄付も増やしたい」と同社の代表取締役社長・斉吉文幸さん。

静岡県文化・観光部長の下山晃二さんは、「富士山が世界文化遺産に登録され、私たちは後世に富士山を守っていくことを宣言しました。そのための保全に力を尽くします」と述べました。

斉吉文幸さんと下山晃司さん（左から）

御伝鷹（みてた）でイルミネーションと町めぐりのイベントを開催

「マイホテル竜宮」前のペガサスのイルミネーション

11月22日から、静岡市の中心市街地で、冬のイルミネーションの点灯が始まりました。

これに合わせ、御幸町、伝馬町、鷹匠町の商店街で構成される御伝鷹（みてた）地区では、イルミネーションを楽しみながら町めぐりができるイベント「伝馬冬の夜の夢」を開催しています。

1月10日までの開催期間中に、同イベントの「お得マップ」を持参すると、記載された30店で〝お得なサービス〟を受けることができます。

マップは、同地区の各店舗をはじめ、みてた情報発信ブース、新静岡セノバ、静岡109、松坂屋静岡店、パルシェ、丸井静岡店、アスティ静岡で手に入ります。

また、1月から、御伝鷹マルシェが開催される予定です。第1回は、1月18日（土）、2月以降は、毎月第2土曜。

県下のコロッケの輪を広げたい！「競争」ではなく「強調」する共同宣言

ご当地グルメで人気の三島馬鈴薯（ばれいしょ）入り「みしまコロッケ」と、特産シイタケ入りの藤枝市「せとやコロッケ」が、このほど共同宣言を発表しました。

内容は、地域間の「競争」ではなく「協調」に力を入れ、連携を強化し、地産地消推進、着地型観光、食育などの活動を促進させ、地域づくりの取り組みを両市に広げていこうというもの。三島市役所で市長立ち会いのもと、それぞれの特産物を交換しました。

今後はシンポジウムの開催や、両市のフードイベントでコラボコロッケを限定販売するなど、県下にコロッケの輪を広げて、交流を図るそうです。

共同宣言を発表する関係者

電球1700個が今年もともる「峠の大銀杏」イルミネーション

藤枝市瀬戸ノ谷の峠地区に立つ樹齢200年・樹高30mといわれる「峠の大銀杏」に、今年も電球1700個のイルミネーションがともりました。

寒さ厳しい冬の山間集落に温かい光をともそうと、地元有志が続けてきた活動に、昨年から心と資金面で応援したいと他エリア有志が「峠のツリーPROJECT」を結成。街の商店街の在庫電球を譲り受けたり、運営資金の募金活動を呼びかけています。

イルミネーションの点灯は、1月11日（土）まで。毎日午後5時〜午後9時。毎週土曜（1月4日を除く）の夜は、スタッフが出迎え温かい飲み物でもてなす計画も用意されているそうです。

茶どころ静岡市ならでは 静岡市内の小学校を対象に「お茶の美味しい入れ方教室」を実施

全国有数の茶どころ静岡市は、平成21年4月に「静岡市めざせ茶どころ日本一条例」を制定。また一年を通してお茶に親しんでもらいたいと、平成22年3月に「静岡茶の祖」と言われる聖一国師生誕の11月1日を「お茶の日」としました。

茶の生活文化の次世代への継承を願い、平成14年度から、市内の希望があった小学校の5・6年生を対象に、「お茶の美味しい入れ方教室」を開催しています。今年度は68校で授業が行われ、児童たちは、歴史や産地、実際に急須を使ったお茶のおいしい入れ方を体験しながら学んでいます。静岡市立清沢小学校では「あまい」「苦い」「良いにおい〜」など、素直な感想が聞かれ、「どうぞ」と手渡すおもてなしの心も学んでいました。

清沢小学校で実施された「お茶の美味しい入れ方教室」

産經新聞
購読のお申し込みは
0120-34-4646

大道芸ワールドカップin静岡でキリンビールマーケティング・キリンビバレッジがボランティアとともに会場内を清掃

毎年多くの参加者でにぎわい、静岡市の秋の一大イベントとなっている「大道芸ワールドカップin静岡」メーン会場の駿府城公園では、〝天使の羽根〟と呼ばれる清掃を主に行うボランティアとキリンビールマーケティング静岡支社、キリンビバレッジ静岡支社がゴミ拾い活動を行いました。

「静岡市内で行われ、全国でも大きな注目されるイベントに、私どもの社も協賛し、清掃活動にも参加させていただいております。今日は土曜（11月2日）ということもあり、多くの方がお見えになっていますが道にはあまりゴミが落ちていませんでした。これはすごいことだと思います。県内はもちろん県外から来た方も『静岡ってゴミがないきれいな街だな』と感じてもらえたのでは。気持ち良く観賞し、また静岡へ来ようと思ってもらえればうれしいですね。また、今後もグループ全体で清掃活動を行い、お客さんに楽しいひと時を過ごしてもらえれば…」とキリンビールマーケティング静岡支社の北條直子さん。

また、同グループでエコ活動を推進する「エコパンダ」も登場。子どもたちに囲まれながら、エコやリサイクル活動のPRを積極的に行っていました。

清掃活動を行ったメンバーとエコパンダ

平成26年度版「観光カレンダー」

1部800円で、好評販売中

静岡リビング新聞社

来年のカレンダーはもう決まりましたか。一年を通して使うものなので、お気に入りを選びたいですね。

おすすめは、（公財）静岡観光コンベンション協会作成の平成26年度版「観光カレンダー」。現在、静岡リビング新聞社で好評販売中です。限定50部で、1部800円。A2判、13枚（表紙一色を含む）。

世界文化遺産に登録された霊峰富士を特集したこのカレンダーは、四季折々、いろいろな表情の富士山を楽しむことができます。イベントや行事も掲載されていて、静岡の魅力が満載。贈答品としても喜ばれそうです。

希望者は電話でお申し込み後、静岡リビング新聞社までご来社ください。郵送は受け付けていません。

三保松原「羽衣海岸」

◆問い合わせ・申し込み
平成26年度版「観光カレンダー」
一部800円
☎054（255）1231
電話受け付け
月〜金曜の午前10時〜午後5時
（土・日曜、祝日を除く）

過去問題集の決定版「高校入試虎の巻」

平成26年度版を好評発売中！

静岡リビング新聞社

静岡リビング新聞社では、「高校入試虎の巻」（1冊=2500円）の平成26年度版を、200冊限定で発売中です。

静岡県の過去11年分の公立入試問題を分野別に編集した虎の巻は、出題傾向がつかめ、10年間のデータを分析した英単語や歴史年代のプリントが付いている過去問題の決定版。

記述問題などの新傾向問題対策には、改訂新版「スペシャル版」（国数英1冊=2000円、理社1冊=1500円）、英語得点の20%を占めるリスニング対策には「リスニング虎の巻」（1冊=1500円）など、教科別に種類もそろっています。

大学受験用の英語と数学を、出題パターン別に編集した「センター虎の巻」（1冊=各1260円）も発売中です。

申し込み・問い合わせは、静岡リビング新聞社へ。

今まで類を見ない分野別特別編集
まだ間に合う!!
高校入試
虎の巻
秘

高校入試虎の巻

静岡リビング新聞社
☎054（255）1231
月〜金曜の午前10時〜午後5時
（土・日曜、祝日を除く）